

令和5（2023）年度第3回県西地域医療構想調整会議及び
第3回県西構想区域病院及び有床診療所会議 結果報告書

- 1 日 時 令和6（2024）年2月28日（水）19時15分から21時10分
- 2 場 所 上都賀庁舎5階大会議室又はWEB
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 議 題（上都賀郡市医師会会長の久保委員が議長に選出）
 - (1) 地域医療構想の進捗状況の検証について【資料1】
 - ・ 県西健康福祉センターから、配布資料に基づき説明。質疑等なし。
 - (2) 令和5年度病床機能報告集計結果の概要（速報版）について【資料2】
 - (3) 外来医療の機能の明確化・連携について【資料3】
 - ・ 県西健康福祉センターから、配布資料に基づき議題（2）（3）を一括して説明。質疑は以下のとおり。

〈上都賀郡市医師会 久保議長〉

県西地域においては、医師の高齢化や経済的な問題等も背景に、病床数が大きく減ってきている。鹿沼市の小林産婦人科医院が令和7年には廃止予定とのことだが、ずいぶん前から産科は休止していると聞いている。県西地域は特に産科の医療機関が少なく、日光市は亀森レディースクリニック、鹿沼市は大野医院と上都賀総合病院だけとなっている。少子化で出生数も減ってきており、産科の医療機関も減ってきているため、産科の現状ということで上都賀総合病院の安藤先生に状況をお伺いしたい。

〈上都賀総合病院 安藤委員〉

当院の産科の現状についてであるが、産婦人科医4名を確保しているが、毎年医師の確保に苦労している状況。他の圏域の中核病院において、これまで大学から派遣されていた産婦人科医が引き上げられるという話を聞き、その代わりに獨協医大や自治医大からそちらに人が取られることになると、県西地域ではますます産婦人科医の確保が厳しくなるのではないかと危惧している。そういった中でも、当院としては、引き続き関係機関との連携を強化し、産婦人科医を引き続き派遣いただくなど、なんとか維持していきたいと考えている。
 - (4) データで見る県西医療圏の医療について【資料4】
 - ・ 医療政策課及び自治医科大学データサイエンスセンターの山名講師から、投影資料に基づき説明。質疑等なし。

(5) 医師の働き方改革に関する状況等について【資料5】

- ・ 県西健康福祉センターから、配布資料に基づき説明。また、獨協医科大学日光医療センターにおける医師の働き方改革対応状況として、同院統括管理者の中元委員から、特例水準の指定に関する状況や宿日直許可の状況について説明があった。質疑等なし。

(6) 医療法人ホワイトによる病院の新規開設について【資料6】※非公開の議題

- ・ 県西健康福祉センター、地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネット、医療法人ホワイトから説明。質疑等なし。

(7) その他

- ・ 医療政策課から、「今冬の医療負荷の状況及び課題等について」説明。質疑等なし。
- ・ 伊藤委員、地域医療構想アドバイザーから以下のコメントがあった。

〈上都賀郡市医師会副会長 伊藤委員〉

自治の山名先生から話があったデータ分析は、今後県西地域にとってどのような医療提供が良いのか、患者の流出を抑えるためにはどうすれば良いのかを検討する上で非常に参考になると思う。いろいろと考えるに当たっても、この調整会議で意見を出し合って、少しでも良い方向に持って行きたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

〈栃木県医師会 稲野会長（地域医療構想アドバイザー）〉

今回の議題を通して、回復期の病床数と実際の回復期機能の問題、山間部における医療・在宅医療の問題、患者の流出の問題など、県西地域の課題というのが見えてきたと思う。一方で、最後の議題にあった新たな病院開設の計画については、これらの課題を解決する上で、一つのダイナミックな動きとして歓迎できるものと思われる。看護職の養成も考えるとのことで、前向きな取り組みとして注目していきたい。県西地域の課題について、これからも十分議論することは必要だが、全県下でも議論や調整、支援が必要になってくると思う。

〈栃木県医師会 白石常任理事（地域医療構想アドバイザー）〉

患者の流出について、県南と県央以外は流出の比率は高いが、その中でも県西は若干多いという状況。今回議題にあった病院開設の動きなどを踏まえ、皆さんで協力して、うまく棲み分けをしながら、流出の部分を減らすために取り組めれば良いと思う。産婦人科の話については、診療科偏在という状況の中で、どうしても産婦人科になる方が少ない。この4月から見える化が始

まり、不妊治療が既に保険になっているが、おそらく数年後には出産も保険になると思われる。そうすると、また状況も変わると思う。医師の働き方改革については4月から始まることになるが、宿日直許可をまず取ることが大切。それではなければ大学からの派遣は難しい。9時間インターバルも大事なことで、医師が少ない中でどこまで出来るかという問題もある。勤改センターでもいろいろな情報を持っており、対応について協力させていただくので、今後ともよろしくお願ひしたい。